

(4) 平成13年7月11日から12日にかけての大雨による災害

気象概況

11日から12日にかけて梅雨前線が朝鮮半島南部に停滞した。福岡県は太平洋高気圧の周辺部にあたり、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため大気の状態が不安定となっていた。

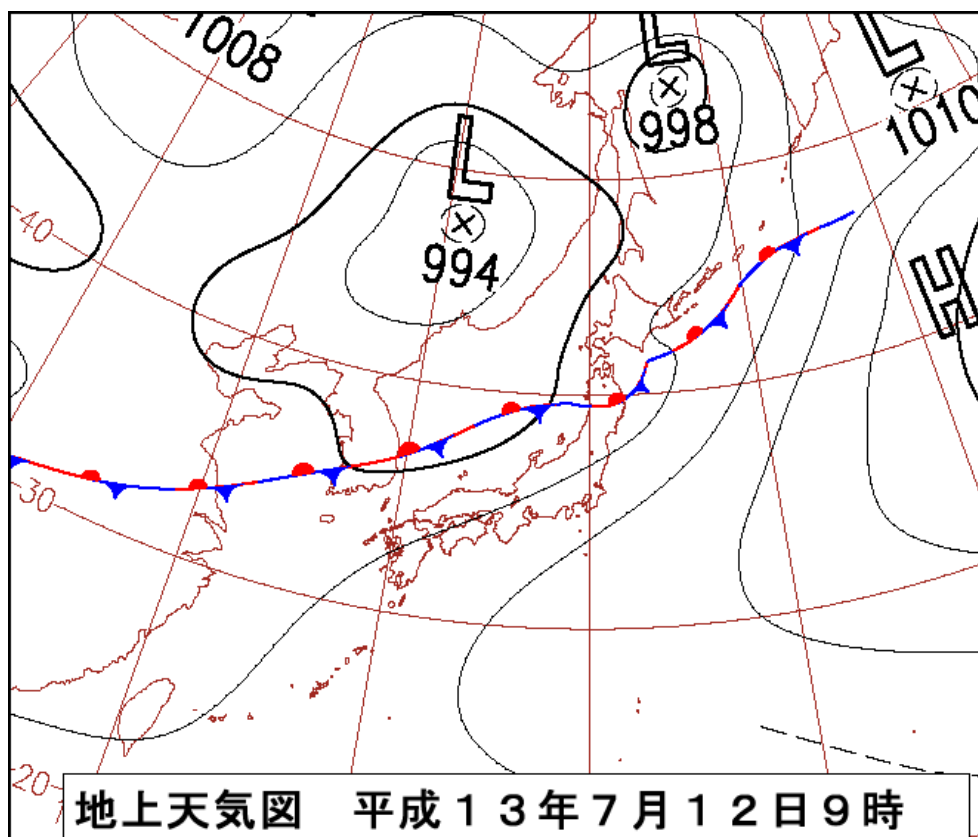
11日は大牟田で日降水量が95mmとなったのをはじめ筑後地方を中心の雨となった。

12日は福岡県のほぼ全域で日降水量が100mmを超える大雨となった。

2日間の総雨量の多い地点は、大牟田 366mm、九千部山 247mm、耳納山 247mm、柳川 239mm、黒木 228mm などであった。

11日の日降水量の多い地点は、大牟田 95mm、九千部山 60mm、柳川 50mm、耳納山 49mm など、12日の日降水量の多い地点は、大牟田 271mm、耳納山 198mm、柳川 189mm、九千部山 187mm、黒木 183mm、前原 164mm、久留米 143mm、太宰府 135mm、甘木 134mm などであった。

また、1時間降水量の多い地点は、黒木 55mm(12日5時)、大牟田 51mm(12日10時)、前原 51mm(12日16時)、九千部 49mm(12日12時)、甘木 45mm(12日13時)、柳川 44mm(12日2時)、久留米 42mm(12日13時)、耳納山 40mm(12日13時)、などであった。



(福岡管区气象台)